学校番号	１０１２

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	生物（実教出版）						
副教材等	エクセル生物　［総合版］（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

1　日常生活の中で起こるさまざまな自然現象に興味をもち，その法則性や原理について考える態度をもつこと。
2　疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。
3　自分の意見の根拠は何かを考える態度をもつこと。

2　学習の到達目標

【知識・技能】
・生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身に付ける。
・目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する技能を身につける。
【思考・判断・表現】
・自らの意見に科学的な根拠を持ち、理論的に考え、伝えることができる。
【主体的に学習に取り組む態度】
・日常生活や社会との関連を図りながら、他の生徒との話し合いなどを通して生物や生物現象への関心を高める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。 生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象に関心や探究心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="4">1学期</td><td rowspan="3">1章　生物の進化</td><td>1節
生命の起源と細胞の進化</td><td rowspan="4">a:
・生命の起源と生命の変遷がわかる。
・生物の生活に影響を及ぼしている外界すべての環境を構成する要素である環境要因がわかる。
・DNA の塩基と生物の多様性の関連がわかる。
・減数分裂や遺伝の法則がわかる。
・進化を裏づける証拠がわかる。
・人類の起源と進化がわかる。
b:
・無機物から有機物が生成され，原始的な生物の誕生を可能にした過程である化学進化や，生命の起源と生物進化の道筋を考えることができる。
・遺伝の実験の内容から法則性を見つけ出し、他のパターンでも予測を立て、発表することができる。
・人類の出現を，多様化した生物進化の一部としてとらえるとともに，人類の進化を考えることができる。
c:
・生命の起源と生物進化の道筋について学び，生物進化がどのようにして起こるのかを調べようとする。
・進化がどのように裏づけられ，その仕組みがどのように説明されているかを調べようとする。</td><td rowspan="3">考査
ワーク</td><td rowspan="3">考査
レポート</td><td rowspan="3">プリント
レポート
学習態度</td></tr>
<tr><td>2節
遺伝子の変化と進化のしくみ</td></tr>
<tr><td>3節
生物の系統と進化</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2学期</td><td rowspan="3">2章　生命現象と物質</td><td>1節
細胞と分子</td><td>a:
・生物体を構成する物質や細胞がわかる。
・酵素の特徴と役割がわかる。
・呼吸の仕組みがわかる。
b:
・資料で与えられた情報から酵素の特徴を考えることができる。
・代謝の流れをまとめ、発表することができる。
c:
・細胞小器官や細胞の働きを分子レベルで調べようとする。</td><td>考査
ワーク</td><td>考査
レポート
発表</td><td>プリント
レポート
学習態度</td></tr>
<tr><td>2節
生命現象とタンパク質</td><td>考査
ワーク</td><td>考査
レポート</td><td>プリント
レポート
学習態度</td></tr>
<tr><td>3節
代謝</td></tr>
</table>

	3章 遺伝情報の発現と発生	1節 遺伝情報と その発現 2節 発生と 遺伝子発現 3節 遺伝子を扱う 技術	a: ・DNA を実際に取り出し、作り方の記録と観察の記録ができている。 ・タンパク質合成の流れがわかる ・生物を利用する技術であるバイオテクノロジーがわかる。 ・動物の配偶子形成と受精がわかる。 ・形成体の役割と発生の仕組がわかる。 b:バイオテクノロジーの実験例を見て、内容を整理し結果から考察できる。 c: ・バイオテクノロジーの原理とその応用について調べようとする態度が育っている。 ・配偶子形成と受精，卵割から器官分化の始まりまでの過程について学び，細胞の分化と形態形成の仕組みを調べようとする。	考査 ワーク	考査 レポート	プリント レポート 学習態度
	4章 生物の環境応答	1節 動物の反応 2節 動物の行動	a: ・動物の刺激の受容がわかる。 ・神経の仕組みがわかる。 ・受容器と効果器を結びつけている神経系がわかる。 b: ・盲斑の位置を調べて，眼球の構造について，また，盲斑の形の個人差についても考えるため盲斑の位置や形を紙上に表すことができる。 ・神経系において情報を伝えたり処理したりする神経細胞が，刺激を伝達する仕組みを考えることができる。 ・外界の刺激を受容する受容器について眼や耳を中心に，その働きを考えることができる。 c: ・外界の刺激を受容し，神経系を介して，反応する仕組みを学び，　日常生活の行動等に結び付けて考える態度をもっている。	考査 ワーク	考査 レポート 発表	プリント レポート 学習態度

3学期		3節 植物の成長と 環境応答	a: ・種子や果実を観察し、構造の記録や考察ができている。 ・植物の発芽,成長の環境応答がわかる。 ・植物の開花と老化の環境応答がわかる。 ・植物の受精がわかる b: ・植物の成長や反応を調節する物質である植物ホルモンや光受容体，また，植物の環境に応答した発芽と成長の仕組みを考えることができる。 c: ・植物ホルモンによって植物の成長が変化することを学び、日常で見かける植物やその果実に結び付けて考える態度をもっている。 ・植物の配偶子形成と受精，胚発生と花器官の分化について調べようとする態度をもっている。	考査 ワーク	考査 レポート	プリント レポート 学習態度
	5章 生態と環境	1節 個体群と 生物群集 2節 生態系	a: ・個体群と環境の関係がわかる。 ・生態系とエネルギーの流れがわかる。 b: ・個体数調査のデータから個体群の大きさなどを考えることができる。 ・生態系と人間の活動を結び付け、環境問題について考えることができる。 c: ・生態系における生物多様性に影響を与える要因を理解し，生物多様性の重要性を調べようとする。	考査 ワーク	考査 レポート	プリント レポート 学習態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度